

TPP (環太平洋経済連携協定) 問題への取り組み

全ての関税をゼロにし、規制や基準、国内制度をできるだけ平準化していくことを基本的なコンセプトとするTPPは、与党民主党がこれまで否定してきた、新自由主義的思想そのものです。暮らしよりも多国籍企業の利潤追求を至上命題とする考え方です。

TPPで打撃を受けるのは農業だけではなく、金融、保険、医療、政府調達等の我が国固有の政策や、食や健康に関する安全基準等、広範囲であり、「農業を守るのか、輸出産業を守るのか」といった二項対立の問題ではなく、「国家主権を守るのか、グローバル企業の利益を守るのか」の問題です。

2年前の10月、当時の菅総理の所信表明演説でTPPという言葉が初めて登場して以来、一貫してTPPの問題点を提起し、シンポジウムの開催、街頭演説やデモ行進、署名活動、官邸への申し入れなど、あらゆる反対運動を展開してきました。

また、1月にはアメリカへ、8月には韓国へ、調査団の一員として現地政府や議会、業界を訪ね、情報収集、意見交換を行って



1月 TPPを考える国民議会代表団による米国に関する実情調査



8月 山形県韓米FTA調査団の一員としてソウルへ

きました。

アメリカではNAFTA(北米自由貿易協定)の経験から労働者を中心に自由貿易そのものに懐疑的な意見も多く、市場原理主義の問題点や対立が表面化しています。

韓国でも、TPPのモデルと言われている「韓米FTA」が今年3月に発効されましたが、例えば、学校給食への地元食材優先供給を定めた条例が、外国産排除にあたり協定に反するとされ、見直しを迫られています。いざ条約が発効されれば、個別分野の問題点が次々と表面化し、さらに混乱に拍車がかかります。300の団体が「韓米FTA阻止汎国民運動本部」に加盟、今後も反対運動を継続するとのことで、「日本には韓国を反面教師として学んで欲しい」と言われたのが印象的でした。

今のところ、全国的に広がる反対運動もあり参加表明こそしていないものの、野田政権は未だ前のめりの姿勢を崩していません。

着々と水面下で協議を進めているにもかかわらず、情報開示をしないという進め方も問題ですが、そもそも日本の国益にならないことは明白です。何としても参加阻止に向けて多くの声を結集しなければなりません。今後とも、TPPの本質、その影響範囲を広く国民全体に理解していただくための活動を続け、大きな国民運動へと広げていきたいと思ひます。



8月 APECでのTPP交渉参加表明を阻止する超党派議員・国民集会



8月 超党派議員で藤村官房長官へ申し入れ(官邸)

【現在の役職】

みどりの風>共同代表

参 議 院>・決算委員会 委員

・環境委員会 委員

・政府開発援助等に関する特別委員会 委員

・国際・地球環境・食糧問題に関する調査会 委員

・選挙制度の改革に関する検討選挙制度協議会 委員

そ の 他>TPPを慎重に考える会 副幹事長

【略 歴】

1966年5月 埼玉県越谷市生まれ

1985年3月 埼玉県立浦和第一女子高等学校卒業

1990年3月 北海道大学農学部農学経済学科卒業

1990年4月 農林水産省入省 経済局国際部、関東農政局、経済企画庁、近畿農政局等勤務

2000年3月 農林水産省退職

2000年4月 結婚、山形県小国町へ

2007年7月 第21回参議院選挙 初当選 (民主党山形県参議院選挙区第1総支部 支部長)

2009年9月~2010年9月 農林水産大臣政務官

2012年7月 民主党離党、新会派「みどりの風」設立



舟山 康江
プロフィール

ご寄付のお願い(個人の方のみ) 一口 1,000円 ※何口でも結構です。

舟山やすえの政治活動を支えていただくためのご寄付を随時受け付けております。いただいたご寄付は、日々の活動費(家賃、光熱費など事務所の運営、印刷物の製作費、通信費など)に充てさせていただきます。一人でも多くの皆様にご理解をいただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郵便振替口座／舟山やすえを支援する会 口座番号／02210-9-127112

※手数料無料の振替用紙もございます。詳しくは事務所までお問い合わせください。

ボランティアの
お願い

何部でも結構です。
このレポートなどをご近所に配布してくださる方を募集しています。



【山形事務所】

〒990-2413 山形市南原町3-16-1

TEL 023-627-2780 FAX 023-627-2781

【国会事務所】

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館522号室

TEL 03-6550-0522 FAX 03-6551-0522

来年のカレンダー作成中!

参議院議員(山形県選挙区)

舟山やすえ 事務所

<http://www.y-funayama.jp/>

参議院議員(山形県選挙区)

舟山やすえ
レポート

FUNAYAMA YASUE REPORT

発行元: 舟山やすえを支援する会
〒990-2413 山形県山形市南原町3-16-1
TEL 023-627-2780
FAX 023-627-2781

2012
秋号

Vol.1

初当選から5年。この間、多くの皆さまから多大なるご支援、ご指導をいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。

皆さまと共に政権交代を目指し、3年前にその念願が叶ったにもかかわらず、この度民主党を離党したことは私にとっても苦渋の決断であり、お世話になっている皆さまには申し訳ない気持ちで一杯ですが、政権交代時の理念から大きくずれてしまった今の民主党に留まることは有権者の皆さまに対して不誠実ではないか、との思いから、離党、新会派結成に至りました。

当初の民主党の中心をなす理念は、「国民目線で、人々の暮らしや地方を大切にする」というものでしたが、いつの間にか強者が弱者を追い落とす新自由主義に取って代わられてしまいました。TPP参加問題、3党合意の下成立した社会保障と税の一体改革(消費増税)法、原発再稼働問題、どれも国民不在で、既得権益者、ムラ社会の論理で議論が進められています。

このような中、志を同じくする4人の参議院議員で「みどりの風」を結成しました。私たちは、行き過ぎた競争よりも共生や共存、多国籍企業や大都市優先より国民一人一人の暮らしと地方を大事にする政治を目指します。大きな政党を後にしましたが、今改めて国会議員の責任の重さを再認識し、この決断が間違っていなかったことを確信しています。

5年前、当初の民主党の理念に期待し、一票を投じてくれた方々に報いるためにも、残り10カ月の任期を誠実に、ぶれずに全うする所存です。引き続きの変わらないご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 舟山 やすえ



みどりの風

所属議員

参議院議員 亀井亜紀子(共同代表・政策担当・島根県選挙区)

参議院議員 行田 邦子(共同代表・国会対策担当・埼玉県選挙区)

参議院議員 谷岡 郁子(共同代表・広報担当・愛知県選挙区)

参議院議員 舟山 康江(共同代表・国会改革担当・山形県選挙区)

基本政策

・日本型の共生社会~外需依存の経済から内需中心の経済への転換、成長よりも分配を重視した経済政策

・自然資源の保全と活用~お金では計れない自然資源の役割に価値を与え、国民全体で自然環境や地域を支える仕組みづくり

・一人ひとりが自らを生かせる日本~同一価値労働に対する同一賃金の実現

・「ものを言える日本」としての外交~強固でしたたかな外交、第三者的な国際機関の積極的活用



通常国会を振り返って

国会活動報告

9月9日、通常国会が会期末を迎えました。79日間延長し、229日間と長い国会でしたが、社会保障と税一体改革関連法の成立のみを目標とし、政府提出法案の成立率はわずか58%。今年度予算の財源4割を占める特例公債(赤字国債発行)法案は廃案となりました。すでに地方交付税の支払いは延期が決定され、地方の予算の執行抑制など今後さらなる影響が懸念されています。会期の後半では、与党単独での強行採決など、丁寧に欠ける国会運営も目立ちました。今後、与党は誠実に、丁寧に国会運営にあたるべきだと思います。



180国会・参議院 委員会質問

3月 9日	決算委員会	原発推進等の国民負担、東北の観光業風評被害
3月 28日	環境委員会	原発再稼働、福島第一原発汚染水漏れ等
4月 13日	決算委員会	赤字会社への源泉税還付のコスト、所得税累進強化等
6月 18日	環境委員会	原子力規制委員会設置法案について
7月 30日	決算委員会	国有農地の現状と問題点、木材価格の低迷等
9月 3日	決算委員会	もんじゅに係る警告決議への政府の対応、トラブル続発と公表のあり方
9月 5日	倫理選挙特別委員会	公職選挙法の一部を改正する法律案について 衆参の1票の格差、政見放送のあり方



8月10日／本会議 社会保障と税の一体改革 関連法案 討論



消費増税関連8法案の採決を前に、みどりの風代表として、反対の対場で討論に立ちました。

- ①法案作成のプロセスが、短期間での密室談合、議会制民主主義のあり方を無視したものであること、
- ②一体と言いながら、社会保障改革の具体像は何も見えず、決まったのは消費税の増税だけであること、
- ③不況、デフレ化での財政再建の手段として消費税増税は適切でないこと、が反対の理由です。

みどりの風 小会派としての国会活動



勉強会の様子

委員会質問

1回あたりの質問時間は短いですが、各委員会に質疑のある場合は、必ず質問の機会を与えられます。常任委員会、特別委員会など合わせると、4つの委員会に所属しているので、ほぼ連日質問準備にあたることになります。

国会対策

参議院には現在11の会派があり、国会運営上、法案採決や決議の前など、様々な場面で協議を行います。野党、特に小会派にとって、他党との意見交換や連携はとても重要です。

法案の賛否

党議拘束がかけられる大会派と違い、法案一つひとつを精査。党議拘束はかけず、4人での議論を経て各々で賛否を決定します。

勉強会

外交問題など有識者を招いてのヒアリングや、各省庁から来年度予算概算要求、税制改正要望の説明など、週に数回、テーマごとに掘り下げて議論を深めています。

記者会見



重要法案の本会議採決後など、会派としての考え方や今後の方針等を発信しています。

フォト記録

6月8日／東京 全農林ユース セミナーにて 講演

TPPを中心に、東北や関東でも講演させて頂きました。



6月30日／熊本 熊本県八代市・ 農業現地視察

熊本県農協青年部協議会の講演前に、酪農施設とい草農家を訪ねました。



7月18日／東京 NHKニュース ウォッチ9

インタビュー収録の様子。離党、新会派結成について語りました。



8月24日／東京 みどりの風控室の 看板かけ

小国の支援者の方が、国会議事堂内の会派控室にかける看板を作ってくださいました。



後援会

新 後援会設立総会

ありがとうございました！



6月3日 寒河江市後援会設立総会

7月28日 高島後援会設立総会



9月16日 川西町後援会設立総会

7月22日／山形 南陽後援会 ビアパーティー



国会見学

国会見学・ しらたか後援会

6月4日、いつも応援くださっている白鷹の皆さんが、国会を訪ねてくれました。参議院内議長応接室にて。



国会見学・山形 県内の小中学校

修学旅行で多くの皆さんが来てくれています。国会の役割や歴史、身近な決まりも全て法律で定められていることなどをお話しています。

